

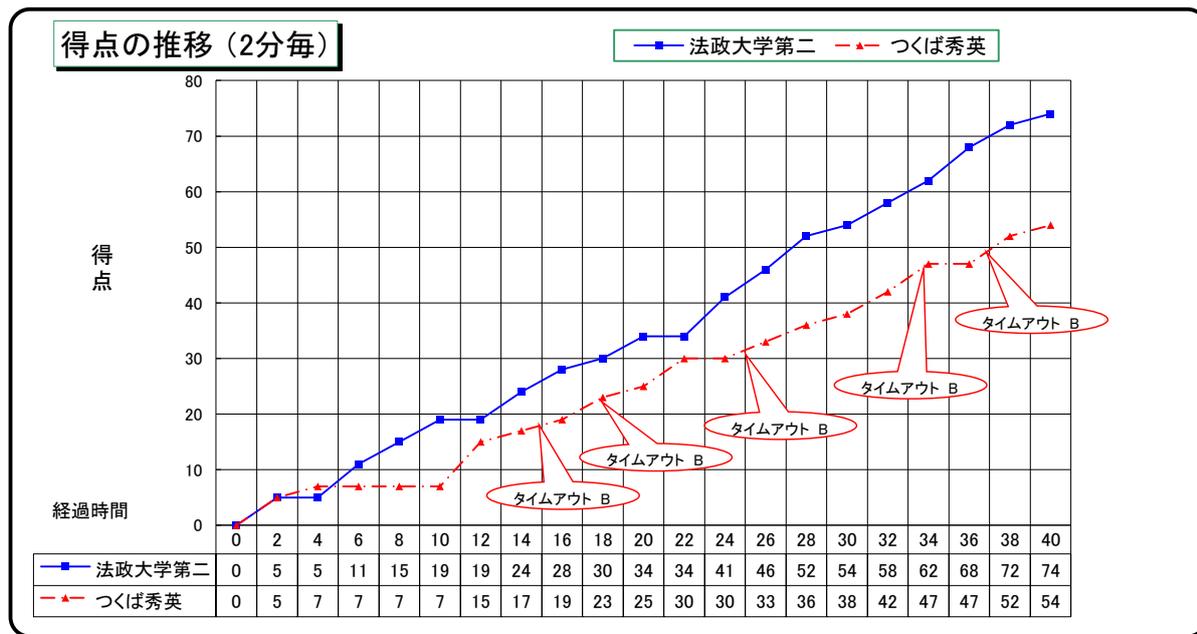
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第3試合 12:00～
<チームA> 法政大学第二 東京		74 $\left\{ \begin{array}{l} 19 \text{ 1Q} \quad 7 \\ 15 \text{ 2Q} \quad 18 \\ 20 \text{ 3Q} \quad 13 \\ 20 \text{ 4Q} \quad 16 \end{array} \right\}$ 54		<チームB> つくば秀英 茨城
主審: 安西 郷史(本部) 副審: 菅 祐介(東京)				

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	四戸 貴之	14		7		1
◎	5	外館 拓海	8		4		1
○	6	柳沢 俊哉					1
○	7	伊藤 悠希					
◎	8	中島 拓哉	14	4	1		3
○	9	山村 海斗					
○	10	中村 龍哉					1
◎	11	鴨志田 紘希	18	1	6	3	2
○	12	山本 忍					
○	13	柴田 智樹					
○	14	本田 尚登	4		2		
◎	15	戸井 堅士朗	10		5		1
○	16	南本 和馬	2			2	1
○	17	夏 啓大					
○	18	金井塚 優人	4		2		1
コーチ 鈴木 恭平							
合計			74	5	27	5	12

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	佐久間 凜太郎	8	2	1		1
◎	5	吉田 晃輔	23	3	7		5
◎	6	生井 弘道	2		1		
◎	7	飯塚 侑樹					
◎	8	益子 紘夢	10		4	2	1
	9	逆井 大輝					
○	10	齋藤 僚太	4		1	2	1
○	11	大久保 洋平	3	1			1
○	12	小林 傑	4		2		
○	13	佐藤 元暉					
	14	畑 賢治					
	15	倉田 大輔					
○	16	徳光 優大					3
	17	須賀 勢也					
○	18	飯田 真基					1
コーチ 稲葉 弘法							
合計			54	6	16	4	13

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 大和田 泰信

第1P, 法政二高(以下法政)はオールコートマンツーマンプレス, つくば秀英(以下秀英)はハーフコートマンツーマンディフェンスでゲームが始まる。法政はポストプレイ, 3Pシュート, ドライブインと多彩な攻撃を仕掛け, ④四戸がオフェンスリバンドをよくひろい序盤のペースをつかむ。それに対し秀英はパスの展開からノーマークを作り3Pシュートを狙うが決まらず, 19-7で第1Pを終える。

第2P, 秀英は⑤吉田の3Pシュートが決まりだし, 徐々に追い上げる。残り5分32秒, 24-17でタイムアウトをとり, オールコート2-2-1プレスを仕掛ける。ところが法政がパス&ランでしっかりとボールを運んだため, 残り2分30秒, 30-21で秀英は再びタイムアウトをとり, ディフェンスをオールコートマンツーマンプレスに変える。しかし得点差は詰まらず, 34-25で前半を終了する。

第3P, 秀英はディフェンスをハーフコートマンツーマンに戻すと, ⑧益子の連続シュート。これでリズムをつかむかみにみえたが, 法政は3Pシュートを確実に決めてゆき譲らず, 残り5分46秒44-30と点差が開く。ここで秀英はタイムアウトをとり, ディフェンスをオールコートマンツーマンに変える。それでも法政は⑩戸井が確実にゴール下のシュートを決めてゆき, 54-38とリードを広げて, 第4Pに突入する。

第4P, 秀英はオールコート2-2-1プレスで反撃を試みるが, やはり法政はパス&ランで確実にボールを運び, シュートを確実に決めてリードを広げる。秀英も④佐久間の連続3Pなどで食らいついてゆき及ばず, 74-54で法政二高が勝利を収める。